

活動分野	森に親しむ懇談会		
タイトル	第2回「森林インストラクターが語る千葉の魅力」		
実施日時	平成30年7月19日(木) 18:45~20:45		
実施場所	船橋中央公民館第1集会室		
受講者	11名	FIC会員	11名

活動の内容

1.報告者とテーマ

- ① 安武講師：「小櫃川流域の自然」
- ② 石田講師：「国指定史跡「下総小金中野牧跡」の捕込とその周辺」



2.内容

①「小櫃川流域の自然」

安武講師より、資料に沿って説明あり。

上流域から下流域に亘る周辺の地形・植生およびその歴史の説明あり、特に河口域に広がる三角州

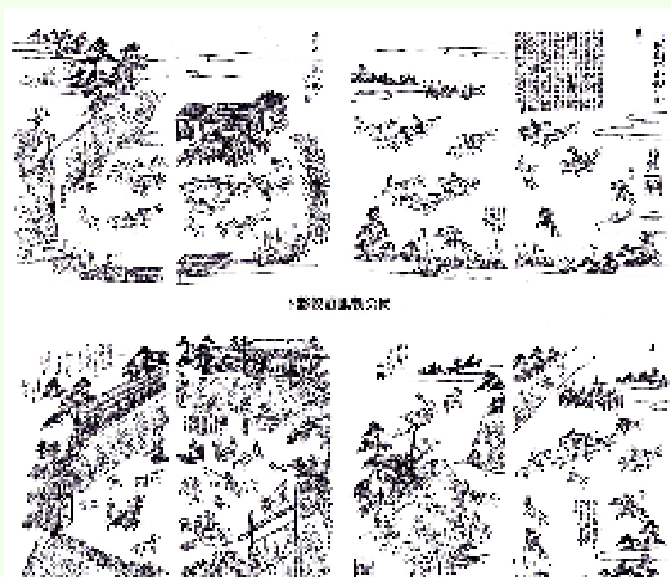
(盤洲干潟)は東京湾の中で三番瀬とともに昔からの自然を残している数少ない貴重な干潟である。

長さ・流域面積—88Km、237 km<sup>2</sup>で房総半島で一番長い川で大きく3つの特徴ある流域に分かれる。すなわち、清澄山系・元清澄山系(上流域)、亀山ダムから下流(中流域)、坂戸神社(下流域)の3つで、房総の特徴である「寸詰まり現象」も見られる。河口が三角州の盤洲干潟で、野鳥の宝庫である。



③「国指定史跡「下総小金中野牧跡」の捕込とその周辺」

石田講師より資料に沿って江戸時代からの小金中野牧の状況や当時の野馬捕りの様子等について成田名所図絵等を交えて説明があった。その遺構の一部が残されており国の指定史跡にも認定されている。



以上